



### 学校教育目標

自立し、共に生き、平和を求めず  
『かしこく』『やさしく』『たくましく』

## 「積み重ね」

副校長 田崎 剛

いよいよ明日から夏休みが始まります。保護者の皆様、並びに、地域の皆様には、今年度も、これまで新型コロナウイルス感染症に対する本校の取組に、ご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。ありがとうございます。引き続き、よろしくお願い申し上げます。

さて、先日(現地時間7月4日)、エンゼルスの大谷翔平選手が、それまで、松井秀喜選手が記録していたメジャー日本人最多本塁打記録に並ぶ31号ホームランを打ちました。その試合の後のインタビューで大谷選手は、「憧れていた(松井)選手に並べたっていうのはうれしい。」と記録についての感想を語っていました。シーズンの半ばでの記録の達成により、ファンの関心はホームラン王争いの方に向いていますが、大谷選手は「一本一本積み上げていけたら。」と応えていました。このインタビューを聞いて、大谷選手も、日米通算4367安打を記録したイチロー選手と同じく、「日々の積み重ねの結果が記録につながる」という考え方をしているのだろうと私は思いました。記録の達成が目的ではなく、「日々の積み重ねこそが重要である」と考えているのだと思います。そして、大谷選手は、新記録を達成した後も、1打席1打席を真剣に戦い1本1本積み重ねています。

話は変わりますが、人は、生まれたときから様々なことを経験し、それを積み重ねて成長していきます。しかも、その成長は、与える経験の質や量だけでなく、本人の積み重ね方によっても大きく変わります。

例えば、同じ野球のバットを使い、素振りを百回した人が二人いたとしましょう。一人は、何も考えずに振り、もう一人は、ボールが来る軌道を想定して、様々なバットコントロールをしながら振る。このように、一見同じに見える行動であっても、意識の違いによって、積み重ね方が異なります。したがって、一つの集団として、同じ経験をしたとしても、積み重ね方は個人で異なるのです。学習においても、意欲や学びに向かう態度が重要視されている理由がよく分かります。そして、今までの積み重ね方が異なっているのだから、必ずしも、誰もが、同じ時期に、同じことを同じようにできなければならないものではありません。むしろ、差があるのが当然なのです。どの子にも同じことを強要するのは、大人の傲慢さだと私は思います。

個人のよさを伸ばすには、それに合った刺激が必要です。自己の興味や関心を生かし、個に応じた異なる経験を積むには、夏休みは最適な時期だと思います。コロナ禍ではありますが、有意義な夏休みになることを願っています。

### お知らせ・夏の事故防止について

生活指導主任 北国 元気

本日、「夏休みの生活」を配布しました。一人一人が安全な生活への意識を高められるよう、ご家庭でも話題にして下さい。



交通事故



水難事故



犯罪・不審者

話は変わりますが、私は、中学校の定期考査のために試験勉強をした記憶がありません。それは、普段の学習の定着を試すのが試験だと思っていたからで、高得点をとることに対するこだわりがなかったためでもあります。もちろん、中学校の先生からは、目標と計画を立てるように指導されていましたから、形だけの計画表は作りました。しかし、その通りに行くことはありませんでした。その後も同じで、高校生のときには、日本史や世界史のテストの結果は、1桁得点のときもありました。私のテストの結果は、日々の勉強の積み重ねそのものでした。

話は変わりますが、GIGA スクール構想の一つに、個別最適化された学びの実現が上げられています。一人1台の端末から個人の教育データを収集・分析し、それをフィードバックして児童の習得状況に応じた新たな課題を提示することが考えられます。学びの仕組として、個人の状況に合わせたスモールステップで行われる学習は、今でも、先生方が工夫して行っているところですが、その一端をタブレットのAIが担うということになると考えられます。今はまだ、ハード面やソフト面において問題が山積されていますが、この先、この個別最適化な学びの一つとして、個別最適化された異なる課題を行うことで、

全員が100点になることを目指すことも考えられます。つまり、個人のゴールが、個別に異なることになり、だからこそ、生涯にわたって学びに向かう態度の育成が、ますます重要になってきます。

基礎的・基本的な力の習得が、タブレットを介しての学習になれば、当然、学校や教員の役割も変化していくこととなります。「学校のあり方が問われる。」その入り口に来ていると言えます。我々も、日々確かな積み重ねを続けていかなければなりません。



活指導主任 北国 元気

「夏休みの生活」を配布しました。一人一人が安全な生活への意識を高められるよう、ご家庭でも話題にして下さい。